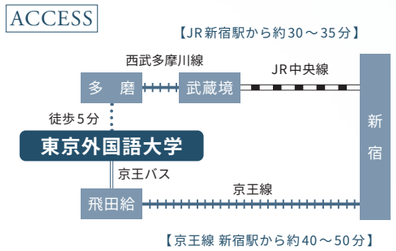
国立大学である東京外国語大学は、日本の開国以来、国の近代化を支える有為の人材を多数輩出し、歴史の荒波を生き抜こうともがく日本とともに歩んできました。その伝統は今現在も、本学の教育の質の高さ、集まる学生の高い志、地球上の国や人々との結びつきを求める姿勢に現れています。

受験生ナビ
Hello! TUFSで
最新情報をチェック！

ACCESS



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

■言語文化学部　■国際社会学部　■国際日本学部

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
入試に関するお問い合わせ先（入試課）
入　試　情　報　TEL 042-330-5179
入試広報イベント　TEL 042-330-5158
https://www.tufs.ac.jp/

国立大学
東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

学部入学案内 2026

世界の言葉と社会を知る
計り知れない成長と可能性が待っている

高速化が進む現代社会において、「言語」はその価値を増しています。
モバイルガジェットやAIが身近なものになり、迅速な「翻訳」が得られやすくなった今、
相手の背景や心情を汲み取り、こちらの真意を伝える、
心のこもった真の「コミュニケーション能力」が必要になってくるのです。
東京外国語大学では、多様な言語と社会、その社会の特性や課題を広く深く扱い、
世界中をシームレスにつなぐ人材を育成します。

CONTENTS

巻頭特集
Why TUFS? ・・・・・・・・・・・・ 04
4 FEATURES OF TUFS ・・・・・ 06
学長対談 ・・・・・・・・・・・・・ 08

東京外大から世界へ
留学プログラム ・・・・・・・・・・ 11
留学体験学生インタビュー ・・・・・ 12

東京外大での学び
学部インデックス ・・・・・・・・・ 15
世界教養プログラム ・・・・・・・・ 16
言語文化学部 ・・・・・・・・・・・ 18
国際社会学部 ・・・・・・・・・・・ 22
国際日本学部 ・・・・・・・・・・・ 26

東京外大での生活
現役学生に聞く、東京外大が選ばれる理由とは ・ 31
キャンパスマップ ・・・・・・・・・・・・ 32
東京外国語大学附属図書館 ・・・・・・・・ 34
部活＆サークル ・・・・・・・・・・・・・ 36
先輩たちの一日／寮紹介 ・・・・・・・・・ 38
キャリア形成と就職活動支援 ・・・・・・・ 40

入学者選抜情報 ・・・・・・・・・・・・ 42

Why TUFS?

東京外国語大学ならではの多彩な強みを、さまざまな「数字」でご紹介します。
数字から浮かび上がる、新たな一面を発見してください。

海外協定大学

187大学

68の国・地域の187大学と協定を結んでいます。協定校の学生が来日して本学で学ぶ一方、本学からも学生を派遣します。

留学体験学生インタビュー　P.12 ▶

留学生の出身国

80カ国

世界80カ国から690人の留学生が本学を訪れています。キャンパスでは世界各地の言葉が使われ、服装も色とりどりです。

数字で見る
東京外国語大学

国内連携大学・機関

35機関

キャンパスを飛び出し、異なる環境で学ぶことは貴重な体験です。本学では、大学をクロスして学べる制度を設けています。

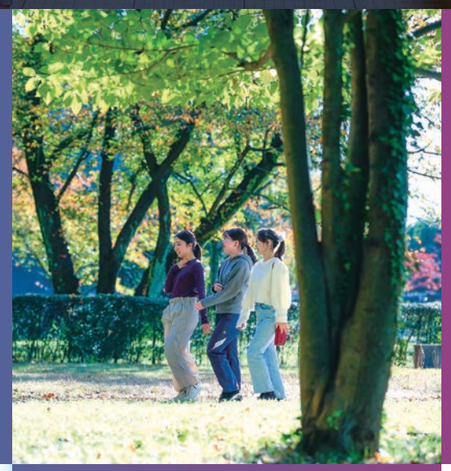
世界教養プログラム　P.16 ▶

はじまりはペリー来航

建学152年

江戸時代末期に翻訳などができる人材の養成を目的に誕生した蕃書調所が本学の起源となる機関です。

歴史・沿革

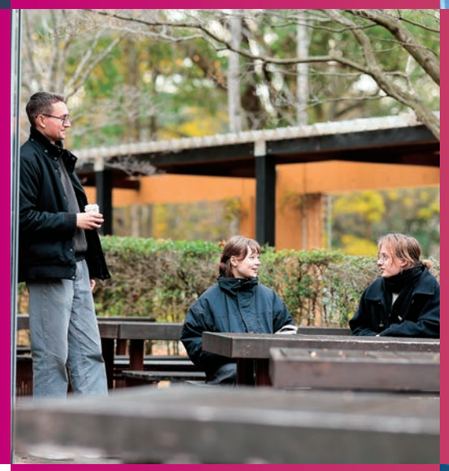


学べる言語

80言語

15地域28言語の教育体制を備えています。主専攻以外の52言語と合計で80言語の授業を開講しています。

世界教養プログラム　P.16 ▶



附属図書館所蔵言語資料

280言語以上

学んだ言語を使って研究を深めていく際に、図書館の存在が欠かせません。280を超える言語の資料を含む約88万冊の蔵書があります。

東京外国語大学附属図書館　P.34 ▶

留学者数

1,395名

2023年度実績では、578名が短期留学、817名が長期留学、計1,395名が留学を経験しました。中には在学中に2回以上留学する学生も。

留学プログラム　P.10 ▶

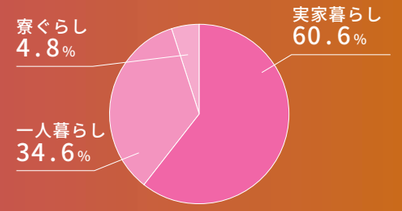
部活・サークル数

177団体

大学公認団体として、体育系48団体、文化系69団体が活動しています。キャンパスのあちこちで民族舞踊の練習も見られます。

部活＆サークル　P.36 ▶

一人暮らし・自宅暮らし・寮



先輩たちの一日　P.38 ▶

4 FEATURES OF TUFS

東京外国語大学の使命は、国際社会に関する豊かな知識と理解をもった創造性あふれる人材を育成するとともに、本学ならではの知を広く社会に還元すること。今回はそんなTUFSの4つの特徴を紹介します。

01 優れた言語習得環境

専攻言語の習得と、グローバルに通用する英語力を身につける教育環境

東京外国語大学には、世界15地域28言語の授業があり、受験時に選択した言語を高いレベルで習得します。各言語には文化的・社会的背景があり、言語と地域の両方を学ぶことで地域理解を深めます。世界共通のコミュニケーション言語である英語の能力を高められるプログラムも用意されています。英語を学ぶ授業以外にも、英語による科目や英語学習支援センターなど、英語力を伸ばすためのさまざまな仕組みが用意されています。

02 世界理解で社会貢献

日本をグローバルにする、言語と世界理解を活かした社会貢献

東京外国語大学は、多言語多文化社会が広がる日本と世界で人々の共生に寄与するための社会貢献活動にも力を入れています。ポルトガル語やベトナム語などで学習支援教材を無償提供するほか、世界の言語学習を支援する「TUFS言語モジュール」を整備。学生は、外国にルーツのある児童生徒への学習支援や国際理解を促進するための活動を、近隣地域で展開しています。学生が翻訳した海外新聞記事も公開し、グローバル化に寄与しています。

府中市多文化共生センターDIVE提供

03 地域研究の拠点

専門家とともに深める知識 多様な視点と研究環境を提供

東京外国語大学は、地域研究の卓越した拠点として知られています。研究所・センターを通じて、各地域の言語、文化、政治、経済など多角的な視点から研究を進め、学生に豊富な資料や研究機会を提供しています。多文化共生と国際理解の促進に寄与する環境で、専門的な知識を身につける環境が整っています。多様な研究テーマと充実した施設で、あなたの学びをサポートします。

04 世界が集う外語祭

世界とつながる学びの祭典 伝統と多様性を体感

東京外国語大学の学園祭「外語祭」は、まさに「世界が集う」祭典です。毎年、学生たちが世界中の文化や言語を紹介し、国際色豊かなイベントを開催します。世界各地の郷土料理や伝統舞踊、音楽、演劇など、さまざまな国の文化を体験できる機会が提供されます。学生たちの学びの成果発表の場でもあります。30の専攻言語地域で演じる「語劇」は、1900年から続く伝統ある目玉企画です。

第103回外語祭　開催予定
2025年11月20日（木）～11月24日（月・祝）

Special Feature　学長対談

未来のグローバル社会を生きる皆さんへ

学長
春名　展生

研究分野は国際政治学、日本政治外交史。学位、修士（学術／2000年東京大学）、博士（学術／2014年東京大学）

×

大学院国際日本学研究院准教授
ハウカンプ・イリス

研究分野は映画史、映画研究、文化史。学位、修士（ジェンダー学／2005年ロンドン大学SOAS）、博士（メディア・フィルム学／2015年ロンドン大学SOAS）

不確実性の時代を生きるため大学で何を身につけるべきか?

春　名：変化の激しい今の世の中で生きるためには、柔軟性や寛容さが必要だと私は考えています。そのために本学で学ぶ4年間に、いろいろなところに行って、いろいろな人と出会い、いろいろな経験をしてほしい。そうした経験があれば不測の状況にも対応する力が身につきます。国を超えて多様な人たちと交流するには語学力が重要です。専攻語だけでなく、英語も自在に使える必要があるでしょう。

ハウカンプ：柔軟性はとても重要だと思います。異なる文化や価値観を理解するため、そして自分の言語や所属する社会を問い直す際にも柔軟性は欠かせません。私はさらに、他者や自分自身に対する旺盛な好奇心やオープンマインドを身につけることも大切だと感じています。

春　名：社会に出てからでも、もちろん変化し成長することはできますが、大学は変化や成長に非常に適しています。第一に失敗を恐れず挑戦できる環境があります。社会に出ると失敗は会社に損失をもたらすことや昇進に影響をあたえることがありますが、大学は学びの場ですから安心して何度でもトライ&エラーをくり返すことができます。第二に大学にはさまざまなコースやテーマがあり、同じ志を持った学生や教員がともに学び合えることです。特に本学は教員と学生の間によい意味で隔たりがなく、対等な立場で学び合える土壌があります。

ハウカンプ：いろいろなバックグラウンドを持った仲間とディスカッションすることで、自分の知らない視点やアイデア、知識と出会うことができますよね。じつは私たち教員も、学生との話し合いから多くのことを学んでいるのです。例えば私は日本映画の研究をしていますが、ドイツ出身ですから日本の学生に映画に登場する物や言葉の意味など、たくさんのことを教えてもらいます。さらにブラジルなど他国の学生からまったくちがった解釈や見方が飛び出してくるのは、本当に興味深いです。

春　名：研究のために異なる文化や価値観を持った相手と一つの課題に向けて、建設的な話し合いを重ねる経験は、将来、環境問題や人口問題、紛争や対立といった世界規模の問題解決に取り組むためにも非常に重要な意味を持ちますね。

ハウカンプ：今の世界が直面している数々の問題は非常に複雑で、どんな国であろうと一国で解決できるものではありません。人種や民族による分断や反グローバルの潮流がありますが、国同士のグローバルな連帯や他者との対話なくしては、一歩も進むことができないということを忘れないでいてほしいです。

東京外国語大学で学ぶ学生に期待すること・願うこと

春　名：私が今後目指すのは、一人でも多くの学生に大学院へ進んでもらうことです。学びを深めることは視野を広げることです。自分の人生だけでなく社会に対してもより長期的なビジョンを持つことができるようになります。そうした人が増えていくことで、きっと社会は変わっていくと信じています。

ハウカンプ：アカデミックな観点から言えば、大学院に進む学生が増えれば、日本の研究レベルの向上も期待できますからね。

春　名：研究レベルの向上という点では、英語習得の重要性を改めて強調しておきたいです。本学ではさまざまな国の言葉を専攻言語として選択することができますが、それに加えてグローバル言語としてぜひ英語を習得してほしい。

ハウカンプ：日本国内であれば研究成果の発表を日本語で行えば共有できますが、日本語がわからない研究者には届けることができません。けれど、英語であれば世界の多くの研究者に研究成果を届けることができます。私自身ドイツ出身で、イギリスの大学では英語で学び、今、日本で研究をしています。母語ではない言語での学びや研究には不安もありますが、恐れずに英語で発信していってください。

春　名：最後に高校生の皆さんへ。知的好奇心があり、挑戦するマインドを持っている人に、ぜひ本学で学んでほしいと思っています。まだ海外に行ったことがなくても構いません。世界を見てみたい、さまざまな人とコミュニケーションを取りたいという想いを、本学で叶えてほしいですね。

Special Feature

To future citizens of our global society

President
HARUNA Nobuo

×

Associate Professor
HAUKAMP Iris
Institute of Japan Studies

What should students learn at university to prepare them to live in these times of uncertainty?

Haruna: I believe that in order to live in today's rapidly changing world, flexibility and tolerance are necessary. For this reason, I would like students to go to various places, meet various people, and have various experiences during their four years of study at our university. Such experiences will give students the ability to cope with unforeseen situations. Communication among people with diverse backgrounds becomes possible with a common language. Students should not only study their major language but also brush up their English skills.

Haukamp: I think flexibility is very important. Flexibility is essential for understanding different cultures and values, and for questioning one's own language and social affiliation. I also feel that it is important to develop an open mind and a great deal of curiosity about others and oneself.

Haruna: Of course, people can change and grow even after entering the workforce, but university is highly suitable place for change and growth. First, university is an environment where you can challenge yourself without fear of failure. In society, failure may result in losses to the company or affect promotion opportunities, but university is a place of learning, where you can repeat trial and error over and over again without worry. Second, universities offer a variety of courses and themes, and like-minded students and faculty can learn together. In particular, our university has an atmosphere in which faculty members and students can learn from each other on an equal footing.

Haukamp: Discussions with peers from various backgrounds can help students encounter perspectives, ideas, and knowledge that they may not have known. Actually, faculty members also learn a lot through discussions with our students. For example, I am studying Japanese films, and since I am from Germany, I learn a lot from Japanese students, such as the meanings of objects and words that appear in films. It is also very interesting to see how students from other countries, such as Brazil, come up with completely different interpretations and perspectives.

Haruna: The experience of engaging in constructive discussions toward a single issue with people of different cultures and values for the sake of research is very important for future efforts to solve global problems such as environmental issues, population issues, conflicts, and confrontations.

Haukamp: The numerous problems facing the world today are very complex and cannot be solved by any one country. There are racial and ethnic divisions and anti-global trends, but I would like to remind you that without global solidarity among nations and dialogue with others, we cannot make a single step forward.

Expectations and Hopes for Students Studying at TUFS

Haruna: My goal for the future is to have as many students as possible enter graduate school. To deepen one's learning is to broaden one's perspective. It will enable them to have a longer-term vision not only for their own lives but also for society. I believe that society will change as the number of such people increases.

Haukamp: From an academic point of view, if more students enter graduate school, we can expect to see an increase in the level of research in Japan.

Haruna: In terms of improving the level of research, I would again like to emphasize the importance of English language acquisition. At our university, students can choose their major language from a variety of countries and regions, but in addition to that, I would like students to put much efforts into English as a global language.

Haukamp: In Japan, we can share our research results by presenting them in Japanese, but we cannot deliver them to researchers who do not understand Japanese. However, if you use English, you can share your research results with many researchers around the world. I myself am from Germany, studied in English at a British university, and am now doing research in Japan. I know you may feel uneasy about learning and researching in a language that is not your native tongue, but please don't be afraid to share your research in English.

Haruna: Finally, to the high school students. If you have an inquisitive mind and are ready to take on new challenges, I would like you to study at our university. It does not matter if you have never been abroad. I hope that your desire to see the world and communicate with a variety of people will come true at our university.

詳細な留学案内は
webにて
ご確認ください。

東京外大から世界へ

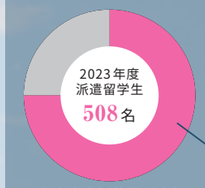
東京外国語大学は、学生に多様な留学の機会を提供しています。長期留学プログラムや短期留学プログラムを通じて、専門的な知識と国際的な視野を広げることができます。

長期留学プログラム

【グローバル人材への飛躍】
――長期留学と異文化体験による総合的な成長

協定校との学生交流協定に基づき派遣される派遣留学、単位認定申請をした上で休学して留学する休学留学などのほか、海外企業でのインターンシップ等に参加する学生もいます。長期留学を経験することで、語学運用能力の向上はもちろん、多文化共生社会を生きる上で大切な異文化理解力、異文化感受性の向上など、全人格的な成長にも繋がります。留学支援共同利用センターでは、留学に関する個別相談ができ、在学生の留学をサポートしています。

奨学金受給状況（派遣留学）



約75％の学生が給付型奨学金を受給

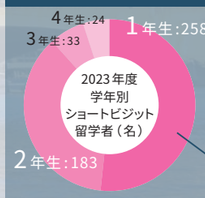
日本学生支援機構が実施する海外留学支援制度（協定派遣）による奨学金受給者が最も多く、民間財団や各国政府による奨学金を受給する学生もいます。

短期留学プログラム

【まずはショートビジットへ】
――多彩な経験で国際的視野を広げる

夏学期や冬学期には、本学の協定校が実施するサマースクールやスプリングスクールに参加するショートビジットプログラムのほか、各種スタディツアーも開講されています。これらのプログラムには、1、2年次の学生が多く参加するのが特徴です。ショートビジットプログラムでは、語学研修目的のコースだけでなく、英語で専門分野を学ぶコースも用意されています。多彩な経験を通じて国際的な視野を広げる絶好の機会となっています。

ショートビジット留学者



ショートビジットプログラムでは多彩な留学先が用意されています。

2023年度は、35カ国・地域に渡って、24の言語を学ぶプログラムが提供されました。

派遣留学等が可能な主な海外の大学

世界187大学と協定を締結

アメリカ	テキサス大学オースティン校	イタリア	ボローニャ大学	中国	北京大学
カナダ	ブリティシュ・コロンビア大学	スペイン	マドリード自治大学	台湾	国立台湾大学
イギリス	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院(SOAS)	オーストリア	ウィーン大学	インド	デリー大学
オーストラリア	メルボルン大学	チェコ	カレル大学	メキシコ	メキシコ国立自治大学
フランス	パリ政治学院	タイ	チュラーロンコーン大学	韓国	延世大学
ドイツ	ベルリン自由大学	シンガポール	シンガポール国立大学	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ州立大学

学生交流等協定校
一覧はwebにて
ご確認ください。

長期留学

南アフリカ／ステレンボッシュ大学

Stellenbosch University, South Africa

多様な民族が暮らす南アフリカへの留学で、価値観が大きく広がる

当初アフリカへの長期留学には躊躇いがありましたが、留学報告会での先輩の経験談が後押しとなりました。南アフリカを選んだのは、ポスト・アパルトヘイトの現状を自分の目で確かめたいと考えたからです。留学先の大学では、社会学を中心に南アフリカの歴史学や開発学、生態系に関する授業なども受講しました。何を学ぶにもまずはアパルトヘイトの歴史をふまえた議論が行われる点が非常に印象的でした。長期休みに友人と南部アフリカ６カ国巡ったキャンプ旅行は、１年間の留学だからこそできたことです。レインボー・ネーションと言われる多民族国家への留学で、自分の価値観の狭さに気づくと同時に新たな世界へ一歩踏み出せました。

国際社会学部アフリカ地域／英語　4年
樽林 輝奈乃さん

長期留学

ポーランド／ヤギェロン大学

Jagiellonian University, Poland

大学で学ぶだけでなく、ウクライナ避難民支援など幅広い経験を得る

留学前に半年間ヤギェロン大学からの交換留学生のバディを務めて親しくなったこともあり、私の留学中も自然と彼の仲間たちの輪に溶け込めました。現地ではポーランド語だけでなくポーランドの歴史や文化、文化遺産活用についても学びました。また現地企業のインターンシップを通じてウクライナ避難民支援活動にも参加しました。将来は日本と世界をつなぐ橋渡しを務めるとともにウクライナの復興支援にも携わりたいと考えています。

言語文化学部ポーランド語／中央ヨーロッパ地域　4年
小宮 康暉さん

留学体験学生インタビュー

実際に海外で学んだ学生たちの体験談をお届けします。異文化に触れ、語学力を磨き、多様な価値観を持つ人々と出会う―海外留学で得られる経験は、言語や文化を深く理解するための貴重な機会です。また、現地での生活や学びを通じて培われたスキルや幅広い視野は、人生やキャリアを豊かにするかけがえのない財産となることでしょう。

留学で培った語学力と国際感覚を活かし、国際人として活躍するキャリアを目指す

中央アジア地域専攻で、ウズベキスタンへのスタディツアーに参加した経験から、現地の人々の暮らしを体験したいと考え、ホームステイができるプログラムに参加しました。大学ではロシア語と基本のキルギス語を学びながら、現地の企業やJICA等での活動プログラムに参加しました。キルギス元駐日外交官の方とセッションできたのは貴重な経験です。国連で働く国際法律家のホストマザーの姿にも刺激を受け、私も日本と中央アジアを舞台に国際的に活躍する人になりたいと強く思うようになりました。現在はロシア語、ウズベク語、英語を学びつつ、専門分野では国際法を学んでおり、今後は中央アジアの国際関係の研究を進めていきます。

国際社会学部中央アジア地域 ／ロシア語　2年
小野 善公さん

短期留学

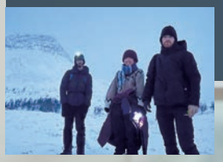
キルギス／キルギス国立総合大学

Kyrgyz National University named after Jusup Balasagyn, Kyrgyz

母語や文化背景の異なる相手とも親しく交流し、たくさんの友達ができた

子どもの頃からフィンランドに憧れがあり、高校生になると日本の教育格差への問題意識からフィンランドの教育システムに関心を持つようになりました。フィンランド留学では学業がとても楽しく、日々新しい発見がありました。また、大学や寮での生活で世界各国からの留学生や現地の人とも交流を深めることができ、母語や文化が異なる相手とも深い関係を築くことができることを実感しました。今後もこの出会いと人とのつながりを大切にしていきたいです。

国際日本学部　4年
石渡 百合子さん



長期留学

フィンランド／オウル大学

University of Oulu, Finland

長期留学

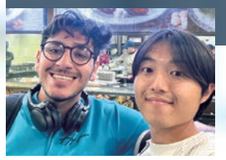
ヨルダン／ヨルダン大学

The University of Jordan, Jordan

現地の学生の考えを直接聞くことで、ありのままの中東政治を知る

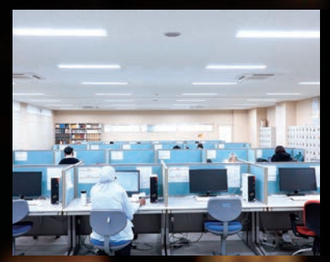
中東情勢が勧善懲悪論的に解釈される潮流の中、ヨルダンへの留学によって現地の学生の政治に対する考えを直接聞き、等身大の中東政治を感じることができたのは貴重な経験です。またヨルダンの豊かな自然にも感銘を受けました。現在は、ゼミでヨルダンの対外政策を研究しています。デジタル化が進む現在においても、真の異文化理解には現地に足を運び五感を駆使して探求する姿勢が欠かせません。貴重な経験を学業に活かしていきます。

国際社会学部中東地域／アラビア語　4年
齋藤 公佑さん



教育体制は
webサイトも
ご確認ください

東京外大での学び



大学院総合国際学研究科

本研究科は、世界諸地域の言語・文化・社会をめぐる個別的かつ総合的な研究を主体とする我が国でも有数の教育機関であり、これらの分野における国際的拠点としての使命を担っています。グローバル化の進行する現代社会で真に貢献できる人材には、専門分野での深い知識や高度な技術が求められています。研究力に加え、総合力、実践力、そして世界で活躍するうえで必要な日本力を身につけ、グローバルに活躍する人材を育成します。

大学院総合国際学研究科についてはwebでもご確認いただけます

School of Language and Culture Studies

言語文化学部 P.18

多様な言語と文化を深く学び「世界の架け橋」を目指す

学びのキーワード

#高い言語能力 #文化 #文学 #芸術 #思想 #宗教 #ポップカルチャー #通訳 #英語教育

コース

- 地域コース
- 超域コース

School of International and Area Studies

国際社会学部 P.22

グローバルな問題の解決に現地の視点から取り組む

学びのキーワード

#歴史 #暮らし #社会 #人権 #ジェンダー #環境 #グローバリズム #国際関係 #法 #政治 #経済 #共生社会の実現

コース

- 地域社会研究コース
- 現代世界論コース
- 国際関係コース

School of Japan Studies

国際日本学部 P.26

世界の中の日本を学ぶ

学びのキーワード

#留学生と一緒に学ぶ
#英語で日本のこと
#現代日本が抱える問題
#日本の社会や文化
#日本語教育

4つの分野

- 日本社会分野
- 日本文学・文化分野
- 日本語学分野
- 日本語教育分野

Global Liberal Arts Program

世界教養プログラム P.16

世界教養プログラム

知性と教養を身につけるプログラム

学部にかかわらず、入学後は国際社会で活躍するための知性と教養を身につける「世界教養プログラム」の科目を履修します。特に、言語・地域に関しては世界15地域28言語の教育体制を整えています。

※入学時には異なる授業科目となる可能性があります。
言 言語文化学部　社 国際社会学部　日 国際日本学部　※記号がついていないものは3学部共通

言語力を身につける

世界 15地域 28言語

入学時に選択した各地域の専攻言語に加えて、各自の興味や関心、あるいは必要に応じて、英語科目や複数の言語を組み合わせて履修します。

- GLIP英語科目群
- 基礎日本語科目 日
- 専攻言語科目群 言 社
- 諸地域言語科目
- 専門日本語科目 日
- 教養外国語科目群

専攻言語科目

英語	スペイン語	朝鮮語	ベトナム語	アラビア語
ドイツ語	ポルトガル語	インドネシア語	カンボジア語	ペルシア語
ポーランド語	ロシア語	マレーシア語	ビルマ語	トルコ語
チェコ語	ウズベク語	フィリピン語	ウルドゥー語	
フランス語	モンゴル語	タイ語	ヒンディー語	
イタリア語	中国語	ラオス語	ベンガル語	

教養外国語科目

ドイツ語	イタリア語	ポルトガル語	中国語	アラビア語
フランス語	スペイン語	ロシア語	朝鮮語	

グローバル人材育成プログラム（GLIP）

GLIP英語科目では、高校レベルの英語を高度な能力へと高め、ビジネス界で通用するレベルまでステップアップさせることを目標に、段階的に学んでいきます。英語を専攻言語としない学生も、GLIP英語科目により高い英語力を身につけることができます。

GLIPの詳細はwebサイトからご確認ください。

地域への理解を深める

それぞれが専攻する地域についての理解を深め、各地域の文化・社会について、さまざまな観点から総合的に理解することを目的としています。

地域科目群 言 社

地域基礎科目

北アメリカ	西南ヨーロッパ	ロシア	東南アジア	アフリカ
北西ヨーロッパ	イベリア	中央アジア	南アジア	オセアニア
中央ヨーロッパ	ラテンアメリカ	東アジア	中東	

英語学習サポート

英語を学ぶ授業以外にも、英語で学ぶ授業（「英語による科目」）や留学生との共学など、英語力を伸ばすためのさまざまな仕組みが用意されています。その中心となっている英語学習支援センター（ELC）では、さまざまな「英語自律学習プログラム」を提供し、学生の皆さんの英語学習を総合的にサポートしています。英語力を向上させるための方策は、本学のすべての学生に開かれています。

大学で学ぶための技術と幅広い教養を修得する

本学学生として必要な知識とものの考え方、そして技能を身につけるため、また、大学で学ぶための基礎的な技能や論理的思考方法を修得します。さらに、現代社会で必要とされる基礎的な知識と技能、そして幅広い教養を身につけます。

TOPIC

国内の他大学・機関との連携

他大学の科目を受講して学びの多様性を広げよう

東京科学大学、一橋大学、東京農工大学、電気通信大学など国内の35の大学・機関と単位互換制度などの連携協定を結んでいます。近隣の大学のほか、弘前大学、宇都宮大学、長崎大学と多文化共生に関するオンラインでの共同授業なども開講しています。他大学で開講されるユニークな科目を学び、学外へとネットワークを広げましょう。

専攻言語／地域を中心に幅広く学び、その後の研究の道筋を築く

高校生の時から世界史が好きで、授業を通してドイツ近現代史に興味を持ちました。ドイツ語と歴史学を学びたいと考え、さまざまな大学を検討した結果、東京外国語大学に進学しました。入学後の世界教養プログラムでは、ドイツ語や地域研究の授業を中心に学んだことでより専門的な内容を学ぶための土台を築くことができました。同時に、ジェンダー論や国際法など興味を持った分野を幅広く学ぶことで、多面的に物事を考える訓練も積むことができました。学生一人ひとりが専攻する言語／地域を持ち、異なる学問分野を跨ぎながら知を積み重ねられる「知ることへのハードルの低さ」は、本学の魅力の一つだと考えています。

大学院総合国際学研究科 博士前期課程1年
世界言語社会専攻 国際社会コース
（国際社会学部 中央ヨーロッパ地域／ドイツ語　2024年卒）
星野 花奈さん

言語力を身につける

【主専攻言語】
ドイツ語Ⅰ～Ⅲ
1・2年次には、週に5回ドイツ語を学びます。文法、読解、作文、聞き取りを中心にした授業が週3回、週2回は会話です。3・4年次には中級・上級レベルの会話、読解、作文などから関心に応じて選択します。

【教養外国語・諸地域言語】
朝鮮語A1～B2、ポーランド語1

【GLIP英語科目】
英語A1～A3

地域への理解を深める

中央ヨーロッパ地域基礎
中央ヨーロッパ地域の文化・社会についてさまざまな観点から基礎的・総合的に理解することを目的として、1～2年次の間に履修します。専攻地域以外についての地域基礎科目を受講することも可能です。

幅広い教養を身につける

哲学、キャリア科目、医療史
歴史に関心を持っており、導入科目や概論科目でも歴史学の授業を中心に履修していましたが、さまざまな視点を持ちたいと思い、哲学、新聞社によるリレー講義、医療史など、自分の関心が赴くままに多種多様な授業を履修していました。

言語文化学部

School of Language and Culture Studies

言語文化学部の
webサイトも
ご確認ください

学びの特長

多様な言語と文化を深く学び、「世界の架け橋」を目指す

言語文化学部では、世界の諸地域の言語や文化の学修に重点を置いた教育を行っています。４年間を通して、入学時に選択した言語や英語、さらに第３、第４の外国語を、多様に組み合わせながら高いレベルで修得することがひとつの目標です。また、３年次からは「地域コース」か「超域コース」のいずれかを選択して、専攻した地域の言語や文学、文化、あるいは地域を超えた特定の学問分野について、専門的な研究を進めていきます。世界を見渡すと、複数の言語や文化が併存する多言語・多文化社会が広がっています。また各地で、文化摩擦や宗教対立など言語や文化をめぐるさまざまな課題が生じています。政治的な紛争も、その背景には言語や文化の問題があることは少なくありません。この複雑な現代社会にあっては、多様な関係性を読み解くことのできる洞察力や理解力、異なる文化を受け止めながら横断する柔軟な発想が求められています。言語文化学部は、こうした力を備え、文化の媒介者として活躍する国際教養人の養成を目指します。

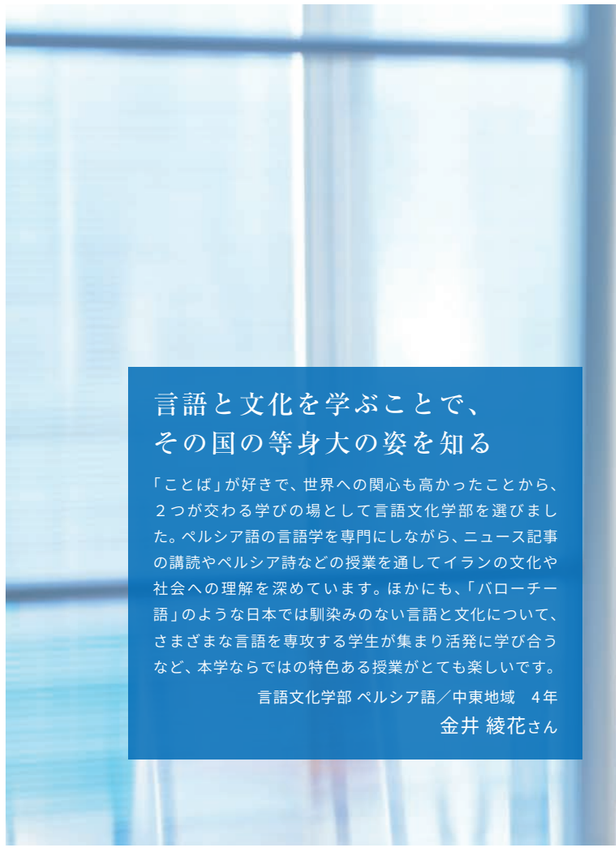
卒業後の進路

出版、広告、観光などに関わる職業／文化事業の企画に関わる職業／新聞社・放送局などのマスメディア／国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど）／通訳・翻訳に関わる職業／英語など外国語教育に関わる職業／大学院進学　など

言語文化学部という名称から、外国語を学ぶことが中心だと思っている人がいるかもしれません。確かに、外国語の修得は東京外国語大学、特に本学部では重要な位置を占めます。ただし、言語は単なるツールではありません。言語を通じて、地域や文化、そしてその言葉を使う人々を理解することにこそ大きな意味があります。その上で、特定の地域の言語や文学、文化、あるいは地域を超えた人文科学の理論について研究していくのが本学部です。４年間の学びによって得られる世界諸地域の言語や文化に対する深い知見は、皆さんが新たな世界の扉を開く力になってくれるはずです。

言語文化学部長　三宅 登之

言語文化学部教員
紹介はこちらから



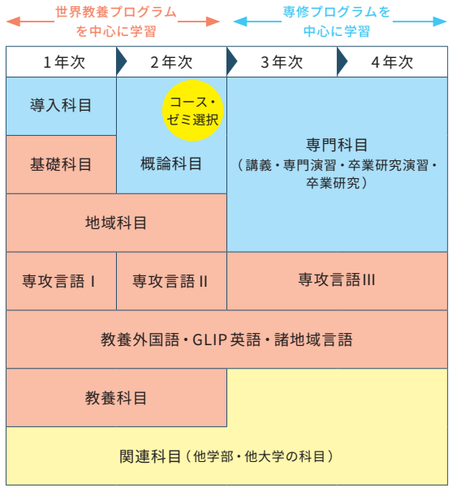
言語と文化を学ぶことで、その国の等身大の姿を知る

「ことば」が好きで、世界への関心も高かったことから、２つが交わる学びの場として言語文化学部を選びました。ペルシア語の言語学を専門にしながら、ニュース記事の講読やペルシア詩などの授業を通してイランの文化や社会への理解を深めています。ほかにも、「バローチー語」のような日本では馴染みのない言語と文化について、さまざまな言語を専攻する学生が集まり活発に学び合うなど、本学ならではの特色ある授業がとても楽しいです。

言語文化学部 ペルシア語／中東地域　4年
金井 綾花さん

言語文化学部 4年間の学修の流れ

1、2年次は、主に「世界教養プログラム」で専攻言語やその他の言語、専攻地域に関わる基礎的な内容や教養科目を学びます。併せて、専門分野の導入科目や概論科目も履修します。3年次以降は2つのコースのいずれかに所属し、専門的・学術的な学びに取り組んでいきます。



■世界教養プログラム

大学生としての基本的な能力、専攻地域についての基本的知識、専攻言語やその他の言語などを身につけます。3学部共通のプログラムです。

世界教養プログラム P.16 ▶

■専修プログラム

大学での学びの集大成である「卒業研究」に向けて、「導入科目」→「概論科目」→「専門科目」というステップで専攻領域の学びを身につけていきます。

3年次からは、「**地域コース**」と「**超域コース**」という2つのコースのいずれかを選択して専攻領域の勉強を進めます。

2コースに分かれて専門性を究める

3年次の春学期からは、個人の興味・関心に合わせて「地域コース」「超域コース」の2つのコースに分かれます。専門領域の学びを深化させる段階に入り、指導教員が担当する専門演習（本ゼミ）がスタート。4年間の集大成となる卒業研究へと進んでいきます。

地域コース

多様な文化と言葉を学ぶ

世界の10地域の特定の言語圏について、言語学、文学、思想、宗教、表象文化論などの特定の学問分野に重点を置いて学び、複数の学問分野を横断し、異なる学問的な視点から学びます。地域に共存する多様な言語、文化を広く学び、その地域に対する深い知見を蓄えることによって、異なる文化を理解し、新しい可能性を開拓する力を磨きます。

Pick Up!

イタリア語学演習

西南ヨーロッパ言語研究演習

担当教員 土肥 篤

人間が話すことばは、そのあり方も研究するためのアプローチも多様です。このゼミでは「ことば」と「イタリア」の2つをキーワードに、自分で立てた問いを通して対象を分析する能力を身につけます。

超域コース

言語・文化の違いを超えて、専門知識を学ぶ

言語学・言語情報処理学、言語教育学、通訳・翻訳、文学・文化理論、人間科学の5つの学問分野のなかから一つを選び、地域を超えた言語研究・文化研究を行います。専攻する言語と地域を常に視野に入れながら一つの学問分野を専門的に学ぶことで、世界のさまざまな地域の現実に根ざした、豊かな教養を身につけます。

Pick Up!

ハルキ・ムラカミを読む

文化・文学研究演習

担当教員 邵 丹

村上春樹の作品を日本語と英語で交互に読む過程でポストモダン社会の文化様式を学び、構造主義や精神分析、フェミニズム批評といった現代文化のあり方への理解を深めます。

外務省 在パキスタン日本大使館にて 外務省専門職員として勤務

唯一無二の言語文化の知識を外交分野で発揮

日本人には馴染みの薄い南アジア地域の言語文化を学ぶことで唯一無二の専門性を身につけたいと考え、東京外大に入学しました。現在は、現地の日本大使館でウルドゥー語の知識を活かして、主にパキスタンの内政情勢のフォロー及び分析を担当しています。今後は周辺地域に関わる業務経験も積み、日パキスタン関係の更なる発展に貢献していきたいです。

言語文化学部 ウルドゥー語／南アジア地域
2020年卒 鐙 裕樹さん

朝日新聞社にて イスタンブール支局長として勤務

激動の国際情勢について、広い視野で日本の読者に解説できる記者を目指す

大学で学んだロシア語や英語と留学で得た国際感覚を活かしたいと思い、この仕事に就きました。ロシアのウクライナ侵攻後は現地で通訳なしの取材を行いました。現在はパレスチナ問題など中東情勢を担当しており、将来は旧ソ連圏やグローバルサウスの視点を含む幅広い角度から国際情勢を伝えていきたいです。

言語文化学部 ロシア語／ロシア地域 2017年卒
根本 晃さん

フリーランスにて 編集者・映像翻訳者として働く

編集と映像翻訳の仕事を通じて、好きな英語の道を歩み続ける

子どもの頃から好きだった英語をより深く学びたいと考え東京外大へ。卒業後は編集プロダクションを経て独立し、現在は英語学習に関する出版物の編集・執筆や配信ドラマ・映画の字幕翻訳を手がけています。世界の言語や文化を学ぶ人が集う東京外大で広がった視野を大切に、今後も見る人に伝わる表現を追求したいです。

外国語学部※ 英語専攻
2003年卒
柴野 絢子さん

※2012年に言語文化学部、国際社会学部に改編

国際社会学部

School of International and Area Studies

国際社会学部の webサイトも ご確認ください。

学びの特長

高度な国際職業人となるために、本当に必要な実践知を身につける

国際社会学部では、2年次までに培った現地語の運用力と確かな現地理解を土台として、社会科学系の専門分野を学修する点に特徴があります。本学部ならではの学びがスタートするのは、2年次秋学期に始まる専門科目、そして3年次の専門演習からです。その学問分野は、大別して経済学系、政治学系、歴史学系、地域研究系、ジェンダー・社会学系、教育学系の6系統にわたり、50を超える個性あふれるゼミが開講されています。ゼミを開く教授陣は、世界の現状を専門的見地から解説し、世界諸地域の成り立ちを歴史・社会・文化の面から深く考察し、現代世界の共通課題についてその解決の道筋を提案できる専門家たちです。こうした専門の学びは、本学の留学プログラムとがっちりと連結されています。現地社会での経験を通じて、座学で学んだ知識は「現場知」へ、1年次から積み上げてきた言語力は「対話力」へと磨かれていきます。現地の人々との間に確かな「信頼」を構築し、現地の目線から国際社会と向き合うことのできる人材の育成を、本学部は目指しています。

卒業後の進路

外交官などの国家公務員や地方公務員／国際的に展開する企業（金融、商社、メーカー、コンサルティングなど）／国際機関や国際的に活動するNGO／新聞社・テレビ局などのマスメディア／出版社／社会科・地理歴史科の中学・高校教員／大学院進学　など

東京外国語大学の国際社会学部は、他大学の国際系学部とは何が違うのでしょうか。それは、1・2年次に地域言語の学修に集中的に取り組み、専攻地域の歴史と現在を学ぶことで確かな土台を築き、そのうえで政治学、経済学、教育学、歴史学、地域研究、文化人類学、社会学、ジェンダー研究といった50以上の分野のゼミに分かれて専門を磨く、独自のカリキュラムにあります。また、短期・長期を組み合わせた多彩な海外留学制度が外国語や専門の学びに直結している点も、特徴です。どの現場でも活躍できる国際的な知性と対応力を養い、世界へと果敢に漕ぎだしていってください。

国際社会学部長　千葉 敏之

国際社会学部教員紹介はこちらから

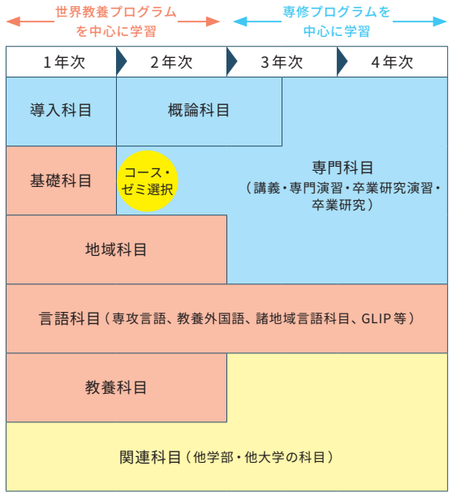
ベトナムや東南アジアの地域格差解決に向けて学びたい

ベトナムで国際ニュース専門の記者をしている母の影響で、子どもの頃から情報が国を超えて共有され対話や協力が進む重要性を実感してきました。現在は専攻している東アジア地域の研究に加え、出身地の東南アジア地域の研究にも力を入れています。将来はベトナムや周辺の地域格差解決と支援をしたいと考えており、諸外国の優れた事例に学び課題解決に取り組むため、大学院に進学して政策立案などのスキルと知識を高めていきます。

国際社会学部 東アジア地域／中国語　4年
グエン・ニャットマイさん

国際社会学部 4年間の学修の流れ

1・2年次は、まず集中的に専攻地域の言語科目を学びます。また、地域に関わる地域基礎科目や教養科目を学びながら、専門分野の導入科目、つづいて概論科目を学びます。2年次後半からは、コースごとの専門科目、3年次からは本ゼミが始まり、卒業研究に向けて学びを深めていきます。



世界教養プログラム P.16 ▶

専攻地域の言語科目、地域基礎科目とともに、大学生としての幅広い教養を身につけるための科目群を学ぶプログラムです。

専修プログラム

自分の専門分野を学ぶために、導入科目、概論科目、専門科目というステップを踏みながら学んでいくプログラムです。指導教員の専門演習、卒業研究演習を通じて、仲間と共に卒業研究を仕上げていきます。

3コースに分かれて専門性を究める

2年次秋学期からコース別の専門科目の履修をスタートし、3年次春学期からは指導教員が開く専門演習（本ゼミ）において、専門分野の学びを深め、研究テーマを絞り込んでいきます。また、長期留学での学修を活かしながら、集大成となる卒業研究に取り組んでいきます。

地域社会研究コース

地域のリアルを五感でつかむ

世界が激変する今、さまざまな地域の構造的理解がますます重要になっています。このコースでは、「地域を見る目」を専門的に養います。

Pick Up!

近現代ベトナムの性と政治
東南アジア地域研究
担当教員 小田 なら

ベトナム社会への理解を深めるために、「性」の観点から、政治制度、社会・家族規範や権力関係を検討し、内在的に地域を理解する手法を学びます。

現代世界論コース

現代世界の諸問題を批判的に洞察し、本質をつかむ

現代世界で生じる複雑多様な問題に対し、批判的思考で問題の本質をとらえ、粘り強く働きかけることのできる力を身につけます。

Pick Up!

日常生活とつながるジェンダー
ジェンダー論
担当教員 竹田 恵子

日常的に構築される「男らしさ」や「女らしさ」にかかわる規範や偏りを統計資料などにより検討し、私たちが生きる社会の解像度を上げます。

国際関係コース

国際社会を生き抜くための知的技術を身につける

それぞれの地域に関する知識を活かし、社会科学とよばれる学問領域に沿って、国際社会を読み解くための知識と技術を身につけます。

Pick Up!

国際政治史と日本の安全保障
平和・紛争論
担当教員 吉﨑 知典

世界情勢を踏まえた政策シミュレーションを行い、ロシアのウクライナ侵攻や中国の台湾への軍事圧力など、予測不可能な状況に対して考えます。

国際協力機構（JICA）にて カンボジア・ラオス担当として勤務

地域の文化や課題についての深い学びが、国際協力を推進する力に

子どもの頃から国際協力に興味がありJICAに就職しました。今はカンボジアとラオスの教育分野主担当として、教育の質の向上のために相手国政府や専門家の方々とプロジェクトを作成しています。大学で地域の文化や課題を深掘りしたことが、この仕事をする上で大きな力になっています。日本と相手国の橋渡しができる人材を目指して成長していきたいです。

国際社会学部 東南アジア地域／カンボジア語
2023年卒　野口 亜依さん

農林水産省にて オックスフォード大学に研修留学中

海外留学で欧州の社会課題を実感し、政策立案の仕事を志す

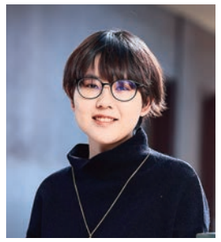
高校時代から食料安全保障に関心があり、大学でのイタリア留学で欧州の社会課題を感じたことから政策を通じた国の基盤整備が重要だと考え、食料の安定供給を支える農林水産省に入省しました。現在はイギリス留学中です。東京外大での学びや人との出会いから新たな世界がひらけ、今のキャリアにつながりました。

国際社会学部 西南ヨーロッパ地域／イタリア語　2017年卒
大出 迪子さん

株式会社テレビマンユニオンにて ディレクターとして勤務

国内外の問題を自分の目で捉え直し、仲間と共に考えていける場所

当初は国際協力に携わる仕事を志していましたが、教養の授業などを通して国内に目が向き始めました。戦跡と米軍基地周辺を巡ったゼミの沖縄フィールドワークは特に印象的で、社会に対する問題意識を活かす道としてマスコミに就職しました。沖縄などその土地で培われた暮らしの重みを伝えていきたいです。



国際社会学部 東南アジア地域／ベトナム語　2023年卒
斉藤 彩香さん

過去にディレクターとして担当した番組：アナザーストーリーズ「コザ騒動」（NHK-BS）、サラメシ「鳥羽のラッコ飼育員」（NHK）

国際日本学部

School of Japan Studies

学びの特長

多様な背景を持つ学生と共に、世界の視点で「日本」を学ぶ

日本そのものをフィールドとして、分野を超え、多角的な視点で日本を捉え直します。具体的には、日本の社会（政治・経済・歴史）、文学・文化、日本語、日本語教育の４つの領域を横断的に学びます。また、英語と日本語の両方をコミュニケーションツールとして用い、日本人学生と外国人学生が同じ教室で一緒に学ぶことも特徴です。留学生は、各学年の定員の４割を占めます。１年次の導入科目では、必修の授業がオールイングリッシュで開講される一方で、日本語による読解力・分析力を高めるプログラムも用意しています。課題解決型のアクティブ・ラーニングもあり、異なる背景・母語を持つ学生が協働して課題に取り組むことで自律性を涵養します。所定の課程を履修することで、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得することも可能です。外国にルーツを持つ子どもが増える中で今後さらにニーズが高まっていく日本語教育のスキルと多文化社会に対する知見を持った国語教員を目指すことができます。

卒業後の進路

世界展開する日本企業／新聞社・放送局などのマスメディア／観光・運輸業／国際機関／官公庁／通訳や翻訳の仕事／日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関／中学・高校の国語教員／大学院進学　など

国際日本学部の大きな特徴の一つは、日本について英語と日本語で学修することです。２つの言語で学際的な内容を学び、議論します。また、留学生にも日本語のスキルが求められます。決して楽なカリキュラムではありませんが、異なる背景を持つ学生が共に学び、議論をしながら共通の課題解決に取り組む姿勢を養うことは、非常に意義があると考えます。日本や日本社会に対する通俗的な思い込みを壊して、一から作り直す機会にもなるでしょう。将来、日本について発信していきたい人、世界の視点で日本を見つめ直したい人、そういう学生にぜひ来てほしいと思います。

国際日本学部長　伊集院 郁子

国際日本学部教員紹介はこちらから

国際日本学部のwebサイトもご確認ください。

多様な授業が、興味ある学びと出会うきっかけをくれた

入学後でも多くの選択肢の中から自分が得たい学びを発見し、挑戦できる環境が整っていると考え、東京外国語大学国際日本学部を選択しました。実際に入学前は言語学や国際関係学を学びたいと考えていましたが、多くの授業を受講する中で興味分野が変わり、卒業研究では日本社会学分野の「江戸両替商の集団構造と社会的役割」をテーマに選びました。外国の方に日本語を教える授業など、多様な経験ができる点も東京外大ならではのおもしろさです。

国際日本学部　4年
柴垣 恵也さん

国際日本学部 4年間の学修の流れ

1、2年次は、3学部共通の「世界教養プログラム」から興味のあるトピックを選んで学習します。また、本学部独自の「協働実践科目」により、多様な背景を持つ人たちと協働して課題を解決する手法を学びます。3年次からは、専門科目の講義・専門演習に取り組みます。

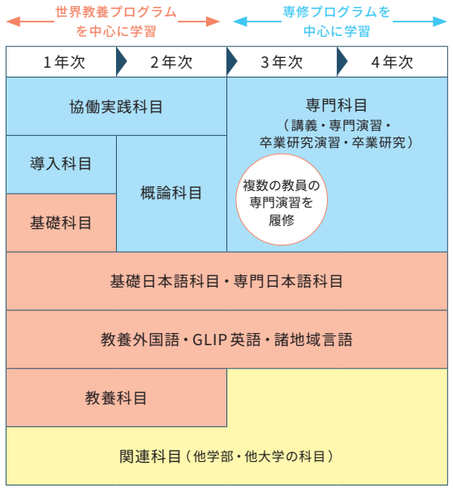
世界教養プログラム P.16 ▶

大学生としての基本的な能力、専攻地域についての基本的知識、専攻言語やその他の言語などを身につけます。3学部共通のプログラムです。

専修プログラム

大学での学びの集大成である「卒業研究」に向けて、「導入科目」→「概論科目」→「専門科目」というステップで専攻領域の学びを身につけていきます。

3年次からは専門科目の講義・演習が開始。複眼的に日本を見る力を養うため、専門演習は複数の教員の演習を履修します。



多角的な視点から日本について学ぶ

社会や文学・文化、言語、言語教育などの多様な観点から日本を捉え直し、客観的な根拠に基づく確かな知識を積み上げられる授業を数多く用意しています。また、課題解決型の授業によって、異なる背景を持つ人々と議論しながら共通の課題に取り組む姿勢を養います。

Pick Up!

日本そのものをフィールドとして、多角的な視点で日本を捉え直す

江戸・東京の長い一九世紀

日本社会演習

担当教員 ジョン ポーター

「江戸・東京の長い一九世紀」というテーマで、巨大都市江戸・東京を対象とし、町共同体、被差別民の集住区域、木賃宿街、市場などを取り上げます。地域社会の構造と変容を動態的に捉え、現代の地域社会が抱える諸問題に向き合うための基本的な視点の獲得を養います。

日本語教育の理論・技法・実践教育

日本語教育概論

担当教員 荒川 洋平

評価法や誤用の訂正など日本語の教え方から、文法や音声など日本語の知識、海外における文化紹介の方法などまで、日本語教育学に関する問いかけを小グループの議論を通じて考えていきます。さらに、学んだ知識や知見を、授業でどう生かすかについても深めていきます。

TOPIC

4年間で2つの学位が取れる ダブル・ディグリープログラム

国際日本学部では、日本と海外で2つの学位を取得できるダブル・ディグリープログラム制度を導入しています。現地に1年～1年半留学し、双方に卒業研究を提出します。現在、イギリスのセントラル・ランカシャー大学、オーストラリアのメルボルン大学と行っています。

Messages from Graduates

アクセンチュア株式会社にて ビジネスコンサルタントとして勤務

大学で学んだ他者とつながる愛と温かさを、言葉で届ける人になりたい

東京外大では言語の構造や深みを探究するだけでなく、母語の異なる学生同士がグループワークで友情を築く経験をするなど、「心をつなぐ方法」を学びました。また、先生や仲間との温かな交流から他者の世界を理解し尊重する大切さを知りました。大学で学んだことを生かし、異なる文化や価値観を持つ人々が心を通わせる瞬間を生み出せるよう日々取り組んでいます。

国際日本学部
2024年卒 リン ユリエさん

マーシュ ジャパン株式会社にて 保険・リスクコンサルタントとして勤務

保険とリスクマネジメントのグローバル専門人材へ

東京外大での一番の思い出は多様な国籍やバックグラウンドの同級生と過ごしたなにげない日常でしたが、振り返ると特別な日常でした。語学力と中高時代のアメリカ在住経験を生かし、日本企業の課題に取り組める環境を求めて現在の会社に就職しました。グローバルな保険市場で活躍できる人材を目指しています。

国際日本学部
2023年卒
及川 雅大さん

株式会社東京ドームにて コンサートや舞台などの管理担当として勤務

旺盛なチャレンジ精神と自ら動く姿勢が、新規事業開拓の強みに

私は国際日本学部新設のタイミングで入学したこともあり、手探りしつつも留学などあらゆる機会を逃さず積極的に挑戦する日々を過ごすことができました。その姿勢が現在、新しい仕事を呼び込むバイタリティーとして役立っています。培った知識やコミュニケーション能力を生かして、国内外の人が楽しめる新規事業開発やイベント企画を担当していきたいです。

国際日本学部
2024年卒
柴田 ももこさん

東京外大での生活

TUFSアカデミック・サポート・センター（通称:たふさぽ）

本学では、学生の学修を支援するためにTUFSアカデミック・サポート・センターを開設しています。学修や履修に関する相談、関心に応じた学修プログラムなどの紹介、卒業論文のテーマや進路（大学院進学など）に関する助言など、多様なサポートを提供しています。教員・大学院生が対応し、学生が効果的に学修を進める手助けを行います。

「たふさぽ」はwebでもご確認いただけます

TUFSアンバサダー※に聞く、東京外大が選ばれる理由とは

※TUFSアンバサダー：学生入試広報ボランティア

Q 東京外大や学部の魅力を教えてください。

田中：私が感じている東京外大の魅力は、自分が知らなかったものの見方や価値観が無数に存在することに気づけること。私は言語文化学部なので専攻言語の授業でベトナム社会の文化を学ぶほか、海外のさまざまな地域について学んでいますが、多くの地域について学ぶほど、自分の感じていた「当たり前」を見直し、多様な他者の立場を踏まえて考えることの大切さを実感しています。

野口：外国語や国際系の学問に特化した大学なので、多様性を受け入れるフレンドリーな学生が多いですよね。留学生と交流する機会も多く、国籍や価値観の異なる人たちと専門的な議論を交わすことはとても刺激的です。学生数は約4,000人と多くはないですが、1年生から大学院生までの縦のつながりがあり、少人数制の授業などアットホームな環境で学ぶことができるのも大きな魅力だと感じています。

渡部：私もアットホームな雰囲気が大好きです。先生との距離も近く、課題の相談などにも丁寧に乗ってもらえますよね。私の所属する国際日本学部では日本語のおもしろさに改めて気づくなど、日本語や日本社会について再発見できる学部です。英語に限らず、1年生のうちから外国語としてさまざまな言語を学ぶことができるのも楽しいです。自分の学んだ言語を使って留学生とコミュニケーションが図れるので、語学習得の励みになります。

Q 現在の目標や進路を教えてください。

野口：現在の目標はモンゴル語と英語の上達です。今年の夏から1年間モンゴルへ留学するので、渡航前に語学力を高めて現地では多くの学びを得たいと思っています。大学生活全体を通しての目標は、専攻地域だけではなく世界について幅広く知ることです。進路についてはまだ漠然としていますが、グローバルに働き、海外に拠点を移すことが夢です。

田中：3、4年生では大学院進学も視野に入れて文学理論やさまざまな地域の文学作品について学び、知的好奇心の向くままに自分の興味関心をより深めていきたいです。そして、恵まれた学びの環境が整っているこの大学で、常にものごとに対して真剣に向き合い考え続ける姿勢を身につけたいと思っています。

渡部：今年はニュージーランドへの派遣留学が決まっているため、留学先で政治学やジェンダー学をしっかり学びたいです。将来的には世界と関わりつつ日本に貢献できる仕事をしたいと考えています。海外で働きながら日本と現地の外交に携わることや日本の魅力発信、人的交流の促進を行う広報分野に興味があります。

TUFSアンバサダーのブログ・SNSや交流イベントについてはこちら！

キャンパスマップ

東京の西部にある、緑豊かな東京外国語大学のキャンパス。
一歩中に入れば、多様な言語が飛び交い、さまざまな文化と触れ合えます。

❶ 研究講義棟

中央通路が地上８階までの吹き抜け構造となっています。ガラスの屋上から光が差し込む明るく開放感のある建物です。1階のガレリアでは、学生サークルや研究ゼミ・プロジェクトによる写真展や展示会、研究発表などが頻繁に行われています。上層階には教員の研究室や共同研究室が連なります。多彩な授業やゼミ研究、教育・研究プロジェクトが行われている教育と研究の中心施設です。

❷ アライバルコート

正門側にあるキューブ上のオブジェTUFS「TUFSモニュメント（通称「タフモニュ」）」から中央広場へと続く緑の歩道。キャンパスのメイン・ストリートとして利用されています。

❸ アゴラ・グローバル

「地球の広場」という意味が込められた異文化交流施設。小窓をちりばめた外観が特徴的です。３つの同時通訳機能のある501人収容可能なホールを備えています。外語祭期間には「語劇」の公演が行われます。

❹ 附属図書館

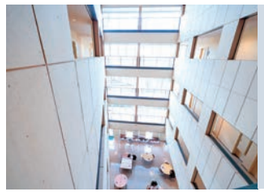
280を超える言語による書籍と資料を有しており、蔵書数は約88万冊。各国の新聞・雑誌、AV資料なども所蔵しています。

❺ アジア・アフリカ言語文化研究所

国内外から多くの研究者が集まる共同利用・共同研究拠点。通称「AA研」といいます。

❻ 大学会館 食堂／生協売店

3種類の食堂と売店があります。130人収容可能な集会室のほか、デッキ・テラスも備えています。学生が憩い、交流する場となっています。



❼ 留学生日本語教育センター

交流協定校などから本学に来て学んでいる留学生のための日本語教育や、学部、大学院の一部授業が行われています。

❽ 中央広場・円形回廊

円形回廊はおもな建物をつないでおり、回廊の下を通れば雨の日も傘をささずに行き来できます。外語祭の開催時は、世界の料理店がぐるっと一周、軒を連ねて壮観です。

❾ 本部管理棟

学費や奨学金などの事務手続きを行うほか、留学や就職、課外活動をサポートする窓口があります。入試に関する情報も提供しています。

❿ 保健管理センター／学生相談室

学生の疾病予防と健康の保持増進のため設置しています。健康診断や学内で起きたけがや病気の応急処置、健康相談・カウンセリングを行っています。

⓫ キャンパスの森

東京外国語大学の自然区域で、学生や教職員がリラックスしつつ、さまざまな植物や生態系を観察できる憩いの場所です。季節ごとの変化を楽しみながら、学修の合間にのんびり過ごせます。

⓬ 屋内運動場・課外活動施設

屋内施設は、サークル活動を楽しむ場として、多くの学生が利用しています。体育館は冷房が完備され質の高い練習環境を提供しています。

⓭ テニスコート

東京外国語大学のテニスコートは5面あり、学生や教職員が快適にプレーできる設備が整っています。軟式テニスや硬式テニスどちらも楽しめるのが魅力。皆が楽しくプレーしています。

⓮ 運動場

運動場は、陸上部、ラグビー部、野球部、ラクロス部など、多様なクラブが活動しています。青空の下、さわやかな掛け声が響き渡り、学生たちがスポーツを楽しんでいます。

⓯ 国際交流会館

東京外国語大学には、世界各国の学生や研究者のための居住施設「国際交流会館」という学生寮があります。留学生や研究者が異文化交流を深め、学び合うための快適な住環境を提供しています。

東京外国語大学附属図書館

webでもCHECK!

本学の附属図書館は、地上４階の建物です。メインフロアは２階です。２階から４階までの３層吹き抜けと大きなガラス窓による構造が特徴で、開放感あふれる造りとなっています。１階に電動集密書架を設置し、さまざまなコレクションや学術雑誌のバックナンバーを収蔵。また、３階は各分野の日本語・英語の基本図書、４階には多言語の言語・文学関係の図書を収蔵しています。授業のある期間の来館者数は、１カ月で約１万人（2024年度実績）。閉館時間は毎日20時（日曜日を除く）で、土曜日も開館しているので、じっくり調べものや勉強をすることができます。

貴重図書

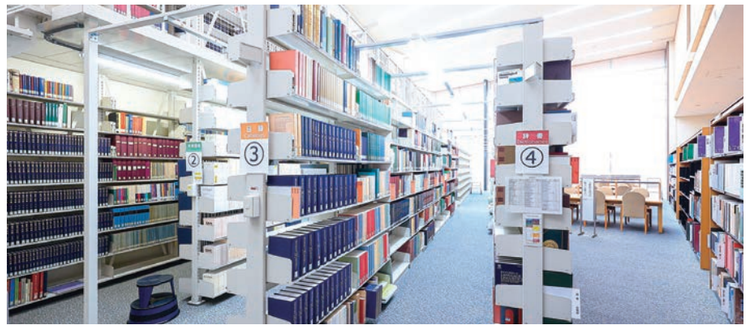
附属図書館では、明治維新前後に日本で出版された外国事情や外国研究書などの貴重な図書を収蔵しています。その中には、本学の前身である東京外國語學校出身の二葉亭四迷が、『あひゞき』を翻訳する際の底本にしたとされるサラーエフ兄弟社版の「ツルゲーネフ作品集」なども残されています。

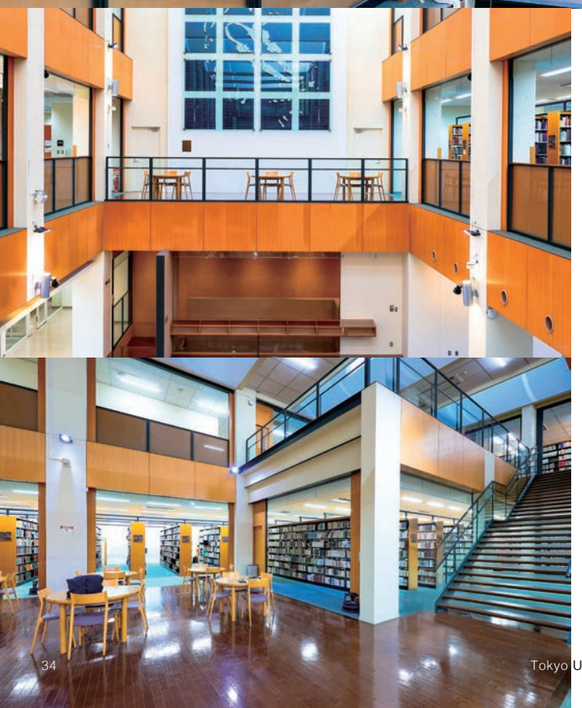
1887年（明治20年）に作られた『露和字彙』は、当時の本学の露語（ロシア語）の教授陣が編纂した辞書です。

サラーエフ兄弟社版「ツルゲーネフ作品集」には、二葉亭四迷が線引きをしながら読んだ跡が今も残されています。

アジア・アフリカ言語文化研究所 文献資料室

アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）には、アジア・アフリカ諸地域の言語・文化に関わるさまざまな参考図書や資料を揃えた文献資料室があります。その中には、現地の教科書のコレクションや、現地の言語で書かれた歴史書、また各先生方が現地で自ら収集した貴重な資料なども含まれています。





豊富な言語に対応した図書が、語学学習の大きな助けに

高校時代に留学先でスイス人の友人と出会ったことがきっかけで、国際社会学部の中央ヨーロッパ地域ドイツ語専攻で学び始めました。附属図書館は専門性の高い蔵書が揃うほか、豊富な言語に対応した図書が収蔵されている点が魅力です。私は専攻のドイツ語のほかに、スペイン北西部で話されているガリシア語を自主的に勉強しているのですが、ガリシア語の学習本は絶版になって流通していないものも多く、希少な蔵書は語学学習に非常に役立っています。また、一人で集中して勉強するだけでなく、4階のラーニング・コモンズを利用し、友人と一緒に意見交換や課題の相談をするなど多様な使い方をしています。

国際社会学部
中央ヨーロッパ地域／ドイツ語　4年
水上 有紀さん

新たな分野や言語と出会う、知的好奇心が満たされる場

幼い頃から英語が好きで、外国語や国際的にひらかれた大学に行きたいと考え、専攻言語・地域の豊富な東京外大に入学しました。附属図書館は平日の空き時間や土曜日の午後など、授業の課題や自主学習を進めたい時によく利用しています。閲覧室のほかPC室や個室などがあり、目的に応じて使える点が便利です。また大学近くで一人暮らしをしているため、時間が空くと意識的に図書館を訪れるようにしています。具体的な目的がなくても図書館に行けば読みたい本ややりたいことが見つかり、気づけば夢中になって何時間も過ごしています。書架散策し、知らない分野や言語の本を気軽に手に取れる環境があるのもありがたいです。

言語文化学部
モンゴル語／中央アジア地域　4年
北島 成愛さん

図書館の相互利用

本学を含め、多摩地区の６大学から成る多摩アカデミックコンソーシアム（TAC）。加盟大学の蔵書合計約370万冊を、相互に無料で利用できます。

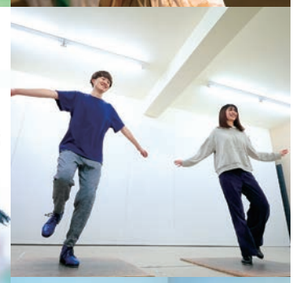
TAC構成大学＝国際基督教大学（ICU）、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、津田塾大学、東京外国語大学

東京外国語大学出版会

言語や地域の研究・教育の成果をまとめた本学ならではの書籍や教科書を数多く刊行しています。『世界を食べよう！』などの一般書も好評です。毎年春には、無料の読書冊子『pieria（ピエリア）』も発行。本学教員が寄稿したエッセイや、在学生や留学生が薦める書籍などを読むことができます。

CLUB ACTIVITIES

体育系サークル48団体、文化系サークル64団体が活動中です。
舞踊・ダンス、国際交流やボランティアなど、東京外国語大学ならではのサークルもあります。



部活・サークル一覧

■球技
アメリカンフットボール部
ラグビー部
男子サッカー部
女子サッカー部
硬式野球部
軟式野球部
男子硬式テニス部
女子硬式庭球部
ソフトテニス部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
男子バレーボール部
女子バレーボール部
バドミントン部
卓球部
フットサル部
ラクロス部
男子フライングディスク部
女子フライングディスク部
フロアボールクラブ

■陸上・滑走競技
陸上競技部
水泳部
フィギュアスケート部
端艇部
ワンダーフォーゲル部
サイクリング部

■武道・武術
剣道部
空手道部
少林寺拳法部
合気道部
弓道部
フェンシング部

■舞踊・ダンス
スペイン舞踊部
フィリピン民族舞踊部
ベリーダンス部
ストリートダンス部
クラシックバレエ部
インドネシア舞踊部
朝鮮舞踊部
競技ダンス部
チアリーディング部
ポンダンスサークル
カタックダンス部
ベトナム舞踊同好会
K-POPカバーダンスサークル
アルゼンチンタンゴサークル
タップダンス同好会
フラチーム

■音楽・芸術
管弦楽団（オーケストラ部）
カンテ研究会
サルサ研究会
アカペラサークル（LINES）
ピアノサークル（NOPIA）
GMC（軽音）
ダルマダーツ（軽音）
モダンジャズ研究所
ブラジル研究会
混声合唱団コール・ソレイユ
ロシア民謡研究会（ルムーク）
写真部
美術部
劇団ダダン
映画研究会
漫画研究会
文芸部
XBULL
アコースティックサークル（AA）
ロシア語劇団
吹奏楽団

■伝統文化
伯牙会（和楽器）
華道部
表千家茶道部
裏千家茶道倶楽部
かるた会
着付けサークル

■語学・社会
英語研究会（E.S.S.）
模擬国連
シリア研究会
Penda Africa
Estudamos Português!
ロシアサークル リュボーフィ
TUFPOST
セクマイサークル Pas A Pas
バルカン研究会
法律研究サークル丹法会
クイズ研究会
手話サークル
TUFS Japaneque
地域活性化サークル「いもに会」

■ボランティア
Peek A Boo（総合ボランティアサークル）
くらふと（国際理解教育）
くりふ（外国につながる子どもの学習支援）
Femme Café
学生NGO ALPHA
ELAN
Mres

※このほか、多数の同好会があります。

チアリーディング部RAMS

全国優勝の実績を持つ、男女混成チアリーディング部

初心者が多いチームのため、基礎を大切に学年の枠を超えて切磋琢磨しています。大会ではチーム一丸となってベストを尽くし、全日本学生選手権大会２年連続優勝を成し遂げました。地域のイベントにも積極的に参加し、チアリーディングの楽しさを多くの人に広めています。

言語文化学部 英語／北西ヨーロッパ地域・北アメリカ地域
２年
部長　佐藤 ひなたさん

インドネシア舞踊部

舞踊を通して外国文化を伝える、東京外大ならではの部活動

きらびやかな衣装やメイクが特徴的なエスニックな舞踊の部活で、毎週日曜日にバリ出身の先生を外部から招きレッスンをしています。外語祭での公演のほか、府中市のさまざまな施設や団体からの依頼を受けて舞踊を披露し、地域社会に対して文化的な多様性を提供しています。

言語文化学部 朝鮮語／東アジア地域
４年
部長　村上 夕奈さん

年間予定表

春学期		夏学期		秋学期				冬学期	
4月	5月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式 オリエンテーション 健康診断	春学期授業開始 ボート大会	夏学期授業開始 春学期定期試験	短期海外留学 ※1 9月卒業者卒業式 交換留学出発	秋学期授業開始	外語祭（5日間）※2	年末年始休業 英語力テスト ※3 ※4	秋学期定期試験	冬学期授業開始 短期海外留学 ※1	卒業式 学年終わり

※1：希望者のみ（短期海外留学に行くなら、夏学期、冬学期がおすすめ）※2：2025年度は11月20日（木）～24日（月・祝）　※3：1年次学生　※4：12月下旬～1月上旬

Living alone
Living at home
Living in the dormitory

One day

── 先輩たちの一日 ──

東京外国語大学で学ぶ学生たちは、日々どんなスケジュールでキャンパスライフを送っているのでしょうか？
今回は生活スタイルの異なる3人の先輩たちの一日をご紹介します。

Living alone
一人暮らし

言語文化学部 中国語／東アジア地域　4年
廣利 佳穂さん

1ヶ月の生活費内訳

My Lifestyle

大学入学後2年間は滋賀県出身者の学生向けの寮で生活し、3年生から大学のすぐ近くの物件で一人暮らしを始めました。多磨は自然豊かで過ごしやすく、学生食堂や図書館などの大学の施設をフル活用できる点がとても気に入っています。

One day with Kaho.

7:00	9:00	10:10	11:40	12:40	14:20	16:00	20:30	22:00	25:00
起床	自習	中国語Ⅲ 読解	友人と昼食 @学食	東南アジア地域基礎	中国語学概論	チアリーディング部	夕食	入浴、授業の課題など	就寝

1時間目の授業がない日も学食の朝食に合わせて早めに登校

ランチは友人と楽しくおしゃべりしながら

部活ではチーム運営や部員のサポートに尽力

自由時間には勉強や趣味のカメラを

友人と他愛のない話題で盛り上がるランチタイムは一番好きな時間

お気に入りのアゴラ・グローバルの一角で、英文を読んで過ごす

ボランティアサークルで海外にルーツをもつ子どもに勉強を教えている

One day with Kowa.

7:00	8:00	10:10	12:00	12:40	14:30	15:00	16:00	17:00	20:00	22:00	24:00
起床	予習	専攻言語科目〝イギリスロマン派詩を読む〟	ランチ	専攻言語科目〝Regional languages〟	自習①	サークルに向け移動	自習②	サークル	帰宅	予習	就寝

Living at home
実家暮らし

言語文化学部 英語／北西ヨーロッパ地域・北アメリカ地域　2年
秋山 倖輪さん

My Lifestyle

平日は実家から大学に通い、放課後はボランティアサークルで海外にルーツを持つ子どもに勉強を教えています。土日はアルバイトのため課題は平日に終わらせることと、集中力を維持するため空きコマをつくらないことが自分なりのタイムマネジメントです。

Living in the dormitory
寮暮らし

国際日本学部　2年
チョクビレン ジハンさん

My Lifestyle

フランス出身です。宿題を終わらせ自由時間をしっかり取るため、スケジュールを立てて規則正しい生活を心がけています。時々東京を離れて日本を探索することも。部活やアルバイトなど新しいことに挑戦し、多くの友人をつくり大学生活を楽しみたいです。

キャンパスの中に寮があるから、朝も安心してゆっくり過ごせます。

One day with Cihan.

7:30	8:30	10:10	11:40	12:40	14:10	15:00	16:30	18:30	20:30	21:00	24:00
起床 シャワー、着替えなど	朝の日課：	フィールドワークの授業	日本語の口頭理解の授業（がんばろう）	宿題をしたり、コーヒーや紅茶、どら焼き（私の好きな和菓子）で休憩したりする	日本の政治の授業（私の一番好きな授業）	大学のカフェテリアで友人と昼食	休憩。天気がいいので東京を散策しよう	友達とプールに行く（ダイエットしよう）	近くのレストランでラーメンを食べる（太ろう）	宿題をする。漢字は難しい（漢字が多すぎる！）	飲み会（20歳を超えたよ）	就寝

※入居状況により、学部新1年生・日本人学生を対象とした入居者の募集は行わない場合があります。

キャリア形成と就職活動支援

就活情報をCHECK!

学部生として充実した時間を過ごした先には、新たな未来が待っています。一般企業への就職、外務省をはじめとする官公庁への就職、さらに学問を究めるための大学院への進学―。学生一人ひとりが、自らの人生を設計し、主体的な進路選択・職業選択を行えるように、学内に設置したグローバル・キャリア・センターでは各種ガイダンスやセミナーの実施、免許・資格の取得支援などさまざまなプログラムを用意しています。また、国内外のインターンシップ参加を支援するほか、キャリアに関する知識を学べる科目を用意し、自らのキャリアを考える機会を設けています。

グローバル・キャリア・センター

一人ひとりの学生が、自立した社会人として生きがいと働きがいに満ちた人生を送ることができるよう、自らの人生を設計し、主体的な進路選択、職業選択を行うことを支援します。グローバル・キャリア・センターでは、各種ガイダンスやセミナー、外交官等国家・地方公務員プログラム、免許・資格取得支援、専任キャリア・アドバイザーによる個別相談制度などを設けています。

キャリア・アドバイザー面談

キャリア支援の専門家であるキャリア・アドバイザーによる面談を受けることができます。キャリア形成や進路選択の相談の他、エントリーシートの書き方や面接対策などについて個別に相談することができ、きめ細かなサポートを受けることができます。

就活関連書籍の貸し出し

就職活動に役立つ書籍を貸し出すコーナーがあります。業界地図や自己分析の方法、エントリーシートの書き方や面接対策、Web適正テストや公務員試験対策の本など、就職に関する多くの書籍を閲覧したり、借りたりすることができます。

ガイダンス・セミナー・プログラム等

全学年対象のセミナーを数多く開催しています。1・2年生向けにはキャリアを考えるためのガイダンス、2・3年生向けには就活や企業研究のセミナー、就活が直前に迫った学生には面接実践講座など、段階に応じたプログラムを用意しています。

求人・インターンシップ情報の閲覧

多数の求人情報が閲覧できます。また、「働くこと」を実際に体験し、今後の大学生活や将来設計に役立ててもらうため、インターシップ情報の提供やサポートを行なっています。学校推薦による海外でのインターンシップや、官公庁や地方公共団体、公益法人等が実施するインターンシップに大学を通して応募する制度などを設けています。

卒業生によるサポート

同窓会組織である「東京外語会」が学内に設置している「外語会プラザ」では、各界で活躍する本学卒業生が就職相談に応じています。進路選択の上での悩みや社会に出てからのキャリア形成など、豊富な経験と深い見識をもつ卒業生が、経験を活かしアドバイスをしています。
また、グローバル・キャリア・センターにおいても、企業等で働く卒業生の訪問（OG・OB訪問）のための情報を閲覧することができます。

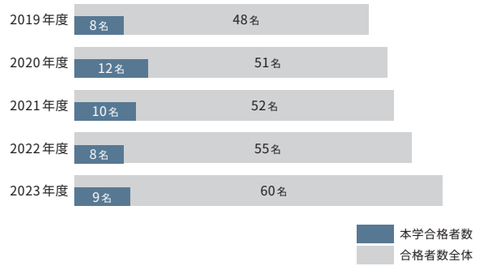
キャリア形成支援プログラム

学生の皆さんが自分のキャリアを考え、実現していくために役立つプログラム（業界研究、グループディスカッション対策、グループ面接対策など）を用意しています。

外交官等国家・地方公務員プログラム

ひとくちに公務員といっても、その業務内容はとても多様で、それぞれの職務に応じた広い知識と高い理解力が求められます。本プログラムにより、進路選択と受験準備を支援しています。

外務省専門職員合格実績



就職者数上位企業一覧（過去５年）

［公務］
外務省
防衛省（自衛隊等含む）
東京都庁
出入国在留管理庁／東京出入国在留管理局
横浜市役所（神奈川県）
農林水産省
国立国会図書館
文部科学省
国土交通省
東京税関
警視庁
埼玉県庁

［情報通信業］
楽天グループ（株）
日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ（株）
日本放送協会（NHK）
（株）日本経済新聞社
日本オラクル（株）
（株）バンダイナムコエンターテインメント
Earth Technology（株）
（株）いすゞインテック
アマゾンジャパン（同）
KDDI（株）
エン・ジャパン（株）
パーソルプロセス&テクノロジー（株）
（株）朝日新聞社
オープンリソース（株）
BIPROGY（株）
（社）共同通信社
朝日放送テレビ（株）

［鉱業、採石業、砂利採取業］
（株）INPEX
JX石油開発（株）
コスモエネルギーホールディングス（株）

［製造業］
（株）日立製作所
ダイキン工業（株）
トヨタ自動車（株）
日本アイ・ビー・エム（株）
沖電気工業（株）
本田技研工業（株）
いすゞ自動車（株）
ENEOS（株）
パナソニック（株）
ブラザー工業（株）
ソニーグループ（株）
川崎重工業（株）
味の素（株）
（株）ブリヂストン
三井化学（株）
（株）小松製作所
三菱電機（株）
富士通（株）
（株）東芝
スズキ（株）
東レ（株）
東ソー（株）
富士フイルム（株）
三菱ケミカル（株）
住友化学（株）
日本製鉄（株）
（株）マキタ
日本電気（株）（NEC）
住友電気工業（株）
（株）IHI
日本ガイシ（株）

［建設業］
住友林業（株）
JFEエンジニアリング（株）
大和ハウス工業（株）
日揮ホールディングス（株）

［電気・ガス・熱供給・水道業］
電源開発（株）J-POWER
東京ガス（株）

［運輸業、郵便業］
日本航空（株）
郵船ロジスティクス（株）
日本通運（株）
日本郵船（株）
全日本空輸（株）
（株）商船三井
（株）二葉
オーシャンネットワークエクスプレス ジャパン（株）
東日本旅客鉄道（株）
（株）阪急阪神エクスプレス
川崎汽船（株）

［金融業、保険業］
（株）三井住友銀行
SMBC日興証券（株）
（株）三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行（株）
（株）みずほフィナンシャルグループ
大和証券（株）
三井住友信託銀行（株）
東京センチュリー（株）
明治安田生命保険（相）

［卸売業、小売業、漁業］
伊藤忠商事（株）
三菱商事（株）
丸紅（株）
三井物産（株）
（株）ファーストリテイリング
双日（株）
JFE商事（株）
住友商事（株）
伊藤忠丸紅鉄鋼（株）
豊田通商（株）
住友商事グローバルメタルズ（株）
（株）ニトリ
マルハニチロ（株）

［学術研究、教育、専門・技術サービス業］
アクセンチュア（株）
アビームコンサルティング（株）
PwCコンサルティング合同会社
デロイトトーマツコンサルティング（同）
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
国立大学法人東京大学
森・濱田松本法律事務所
（株）クニエ
（株）電通
（株）野村総合研究所

［サービス業／その他］
（独）日本貿易振興機構（JETRO）
（株）JTB
（独）国際交流基金
パーソルキャリア（株）
（独）国際協力機構（JICA）
（株）リクルート
（株）星野リゾート・マネジメント
全国農業協同組合連合会
セコム（株）
（株）プリンスホテル
アパグループ
イオンモール（株）

取得可能な教員免許状

	中学校	高等学校
言語文化学部 言語文化学科	外国語	外国語
国際社会学部 国際社会学科	社会科	地理歴史科
国際日本学部 国際日本学科	国語	国語

本学では、所定の単位を修得し教育実習を行うことで中学校・高等学校の教員免許状の取得が可能です。免許取得には卒業要件単位に加え教職関連科目の履修が必要ですが、多くの卒業生が実際に教員免許を取得し、中学高校の教員として全国で活躍しています。

本学大学院への内部進学者に対する支援

大学院先取り履修制度（大学院科目等履修生）
大学院への進学を予定する特別に認められた学部学生が、本学大学院博士前期課程の授業科目を先取り履修できる制度を設けています。学部卒業前に大学院科目を履修することで、問題意識を高め、研究テーマを絞り込み、大学院で修士論文に向けた研究により多くの時間をあてることができます。本制度の利用により、１年で修士号を取得することも可能です。

検定料無料
本学学部学生が４年次在籍時に博士前期課程特別選抜（推薦入試）を受験する場合、検定料は無料になります。

TUFS修学支援制度
本学大学院博士前期課程の入学試験のうち、特別選抜（推薦入試）による合格者の成績上位30名は、大学院の入学料が全額免除されます。また、このうち成績上位20名については、入学料の全額免除に加え、博士前期課程での在籍２年間において、授業料の半額が免除されます。

入学者選抜情報

学部入試情報はこちら

受験希望者向け
イベント情報はこちら

募集人員

■ 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	前期日程	学校推薦型	帰国生等特別推薦	私費外国人留学生	入学後の専攻地域
英語	36	5	若干名	若干名	北西ヨーロッパ・北アメリカ
ドイツ語	22	3			中央ヨーロッパ
ポーランド語	12	2			
チェコ語					
フランス語	22	3			西南ヨーロッパ
イタリア語	12	2			
スペイン語	25	3			イベリア・ラテンアメリカ
ポルトガル語	11	2			
ロシア語	21	3			ロシア
ロシア語 及びウズベク語	9	2			中央アジア
モンゴル語					
中国語	23	3			東アジア
朝鮮語	12	2			
インドネシア語	19	3			東南アジア
マレーシア語					
フィリピン語					
タイ語	23	5			
ラオス語					
ベトナム語					
カンボジア語					
ビルマ語					
ウルドゥー語	19	3			南アジア
ヒンディー語					
ベンガル語					
アラビア語	24	4			中東
ペルシア語					
トルコ語					
計	290	45	若干名	若干名	

注１：前期日程の募集人員には、各専攻言語とも帰国生等特別推薦選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含む。
注２：学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

■ 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	前期日程	後期日程	学校推薦型	帰国生等特別推薦	私費外国人留学生	入学後の専攻言語
北西ヨーロッパ／北アメリカ	20	5	2	若干名	若干名	英語
中央ヨーロッパ	28	6	2			ドイツ語
						ポーランド語
						チェコ語
西南ヨーロッパ	27	8	2			フランス語
						イタリア語
イベリア／ラテンアメリカ	29	7	3			スペイン語
						ポルトガル語
ロシア	17	3	2			ロシア語
中央アジア	13					ロシア語 及びウズベク語
						モンゴル語
東アジア	30	7	3			中国語
						朝鮮語
東南アジア第１	15	4	2			インドネシア語
						マレーシア語
						フィリピン語
東南アジア第２	22	4	2			タイ語
						ラオス語
						ベトナム語
						カンボジア語
						ビルマ語
南アジア	15	4	2			ウルドゥー語
						ヒンディー語
						ベンガル語
中東	19	5	2			アラビア語
						ペルシア語
						トルコ語
アフリカ	10	3	2			英語
オセアニア	9	—	1			英語
計	254	56	25	若干名	若干名	

注１：前期日程の募集人員には、各専攻地域とも帰国生等特別推薦選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含む。
注２：学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。
注３：「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか１つの専攻地域を選択すること。

■ 国際日本学部 国際日本学科

前期日程	学校推薦型選抜	帰国生等特別推薦選抜	留学生を対象とする選抜	
			日本留学試験利用選抜	海外高校推薦選抜
35	10	若干名	20	10

注１：前期日程の募集人員には、帰国生等特別推薦選抜の募集人員若干名を含む。
注２：学校推薦型選抜、日本留学試験利用選抜及び海外高校推薦選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

重要なお知らせについて

入試出願方法、選抜方法などの変更、風水害等の災害による検定料免除などの重要なお知らせはこちらからご確認いただけます。
受験希望者は随時確認するようにしてください。

https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/notice.html

一般選抜（前期日程）の配点［参考］

試験区分	教科								合計
	国語	外国語※1	数学①	数学②	地理歴史	公民	理科	情報	
大学入学共通テスト	100点	150点	50点	50点	50点	50点（いずれかの教科から１科目）※2		50点	500点
個別学力検査	—	300点	—	—	150点	—	—	—	450点
計	100点	450点	50点	50点	200点	50点		50点	950点

※１「外国語」の配点には、英語スピーキングテストが含まれます。
※２ 詳しくは、入学者選抜要項や募集要項をご覧ください。

学部別入学者選抜一覧

必ず出願する入学年度の募集要項を確認するようにしてください。

	試験種	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学時期	募集要項公開時期	大学入学共通テスト	筆記試験（小論文含む）	面接
言語文化学部	一般選抜（前期日程）	2026年1月下旬～2月上旬	2026年2月25日(水)	2026年3月上旬	4月	10月下旬	○	○	-
	学校推薦型選抜	2025年11月上旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	帰国生等特別推薦選抜	2025年11月上旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	私費外国人留学生選抜	2025年10月中旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	第３年次編入学試験	2025年8月中旬	2025年10月下旬【2次選考】	2025年11月中旬	4月	7月中旬	-	○	○
国際社会学部	一般選抜（前期日程）	2026年1月下旬～2月上旬	2026年2月25日(水)	2026年3月上旬	4月	10月下旬	○	○	-
	一般選抜（後期日程）	2026年1月下旬～2月上旬	2026年3月12日(木)	2026年3月中旬	4月	10月下旬	○	○	-
	学校推薦型選抜	2025年11月上旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	帰国生等特別推薦選抜	2025年11月上旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	私費外国人留学生選抜	2025年10月中旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	第３年次編入学試験	2025年8月中旬	2025年10月下旬【2次選考】	2025年11月中旬	4月	7月中旬	-	○	○
国際日本学部	一般選抜（前期日程）	2026年1月下旬～2月上旬	2026年2月25日(水)	2026年3月上旬	4月	10月下旬	○	○	-
	学校推薦型選抜	2025年11月上旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	帰国生等特別推薦選抜	2025年11月上旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	○	○
	日本留学試験利用選抜	2025年10月中旬	2025年11月下旬～12月上旬【2次選考】	2025年12月中旬	4月	8月上旬	-	-	○
	海外高校推薦選抜	2025年8月下旬～9月上旬	2025年10月中旬～下旬【2次選考】	2025年11月中旬	4月	6月中旬	-	-	○
	第３年次編入学試験【Bタイプ】	2025年3月上旬～5月上旬	2025年5月中旬～下旬	2025年6月中旬	10月	12月下旬	-	-	○

学費・納付手続き

入学料・授業料の金額

	入学料	授業料
学部生	282,000円	267,900円（前半期）、267,900円（後半期） 計535,800円（年額）

授業料の納付時期

学部生	前半期	後半期
口座振替	5月下旬	10月下旬
銀行振込（口座振替未登録者）	5月下旬	10月下旬

受験生向けお役立ちサイト

■ Hello! TUFS
受験生向けお役立ちサイトはこちら

■ 英語スピーキングテスト徹底解説
一般選抜前期日程の受験生は要チェック